

# NRIだより

2014年3月期

## 決算のご報告

2013年4月1日～2014年3月31日



- 1 株主の皆様へ
- 2 数字で見るNRI
- 3 セグメント別およびサービス別の概況
- 4 連結財務諸表(要約版)
- 5 2013年度のトピックスより
- 6 トピックス
- 8 会社データ

野村総合研究所  
Nomura Research Institute

## 株主の皆様へ | To Our Shareholders



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本企業の業績が回復し、将来に向けた成長戦略の検討や情報システムへの積極的な投資が始まっています。このような環境の中、NRIグループは中長期的な成長を実現するため、強みをさらに伸ばしつつ新しい分野での成長施策を推し進めました。

金融分野では、共同利用型サービスの事業展開が進みました。本年1月からNISA(少額投資非課税制度)が始まり、NRIの共同利用型サービス(「STAR」「BESTWAY」など)では、これに対応した機能の提供を開始しました。また、株式会社だいこう証券ビジネスとの連携を強化し、両社のノウハウを活用した事務アウトソーシング事業の拡大を目指します。さらに、金融商品の提案型営業を支援するフロントシステムや共同利用型インターネットバンキングシステムの事業も拡大しました。

産業関連分野では、コンサルティング部門とITソリューション部門の連携が功を奏し、顧客の大型化が進んでいるほか、顧客企業のIT部門の構造改革支援を進めています。

海外展開については、コンサルティングとITソリューションの両面でサービスを提供できる体制づくりを進めていま

す。日系企業の海外進出を支援するとともに、現地政府・企業へのコンサルティングサービスも拡大しています。北米地域においては事業強化に向け、本年4月に現地拠点を再編しました。

その結果、2014年3月期の売上高は3,859億円(前期比6.1%増)、営業利益は498億円(同13.3%増)と、3期連続の増収増益となりました。

2015年3月期はこの勢いを継続させて、売上高、営業利益、当期純利益で、過去最高の更新を目指します。情報システムの「所有から利用へ」の流れも追い風に、制度改正や情報システムの老朽化などを背景に高まる情報システムへの投資需要をとらえるだけでなく、新しい分野へのチャレンジも継続していきます。そして、高収益性と資本効率に裏付けされた力強い1株当たり当期純利益の成長を通じて中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年6月  
代表取締役社長

嶋本 正

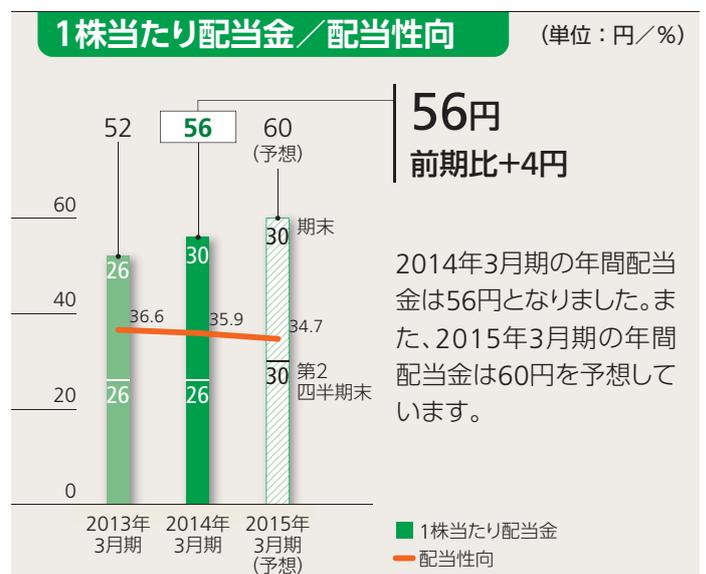
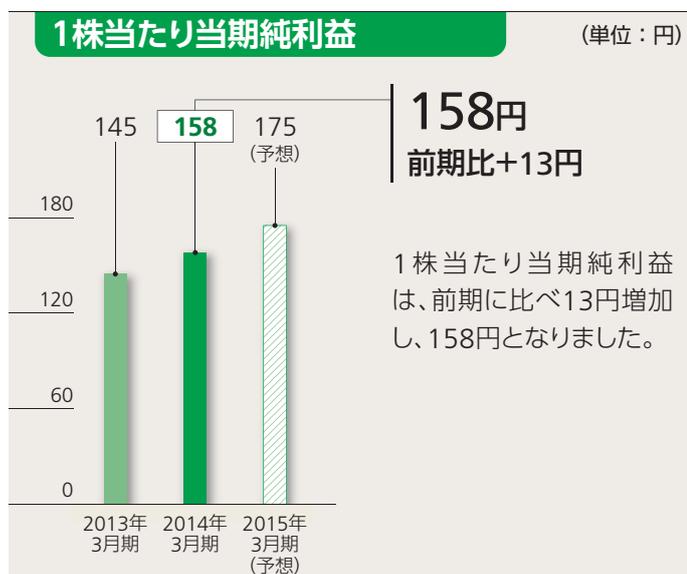
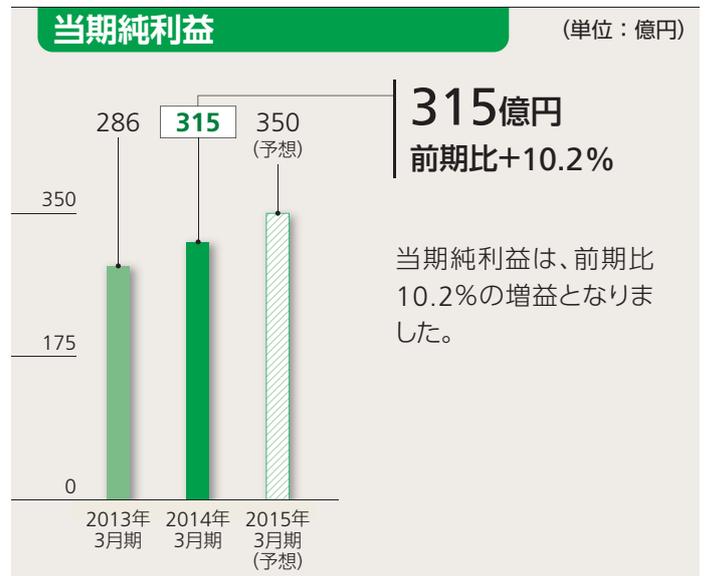
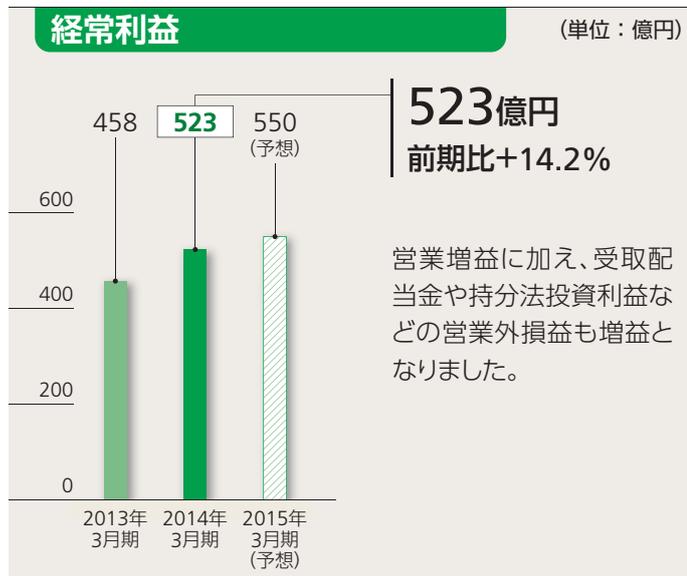
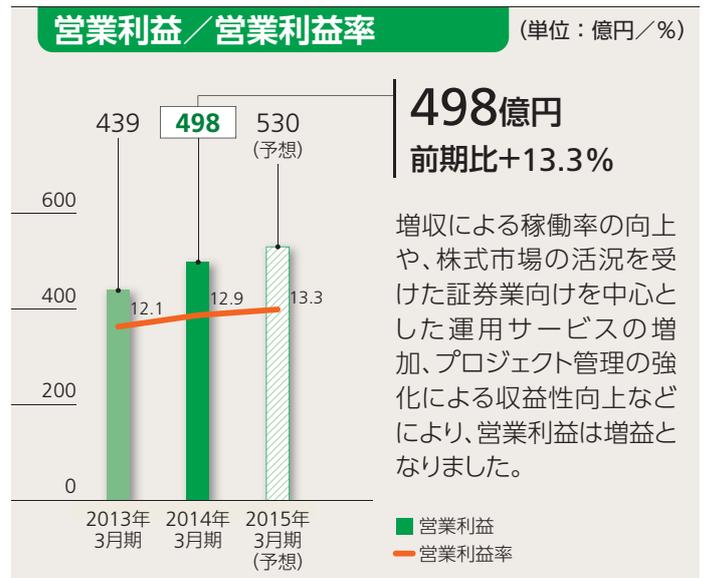
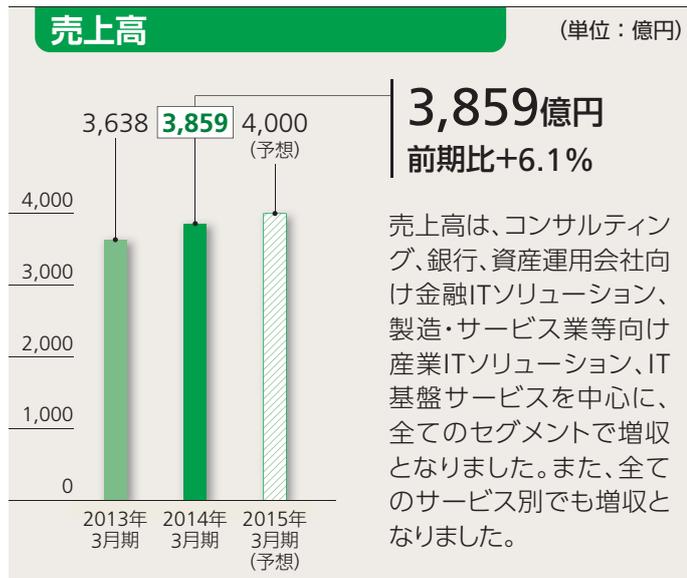
### 2015年3月期業績予想について (2014年4月24日発表)

(単位:億円)

	2014年3月期実績	2015年3月期予想
売上高	3,859	4,000
営業利益	498	530
経常利益	523	550
当期純利益	315	350
1株当たり当期純利益	158.75円	175.57円
1株当たり年間配当金	56円	60円
自己資本当期純利益率	10.2%	10.4%

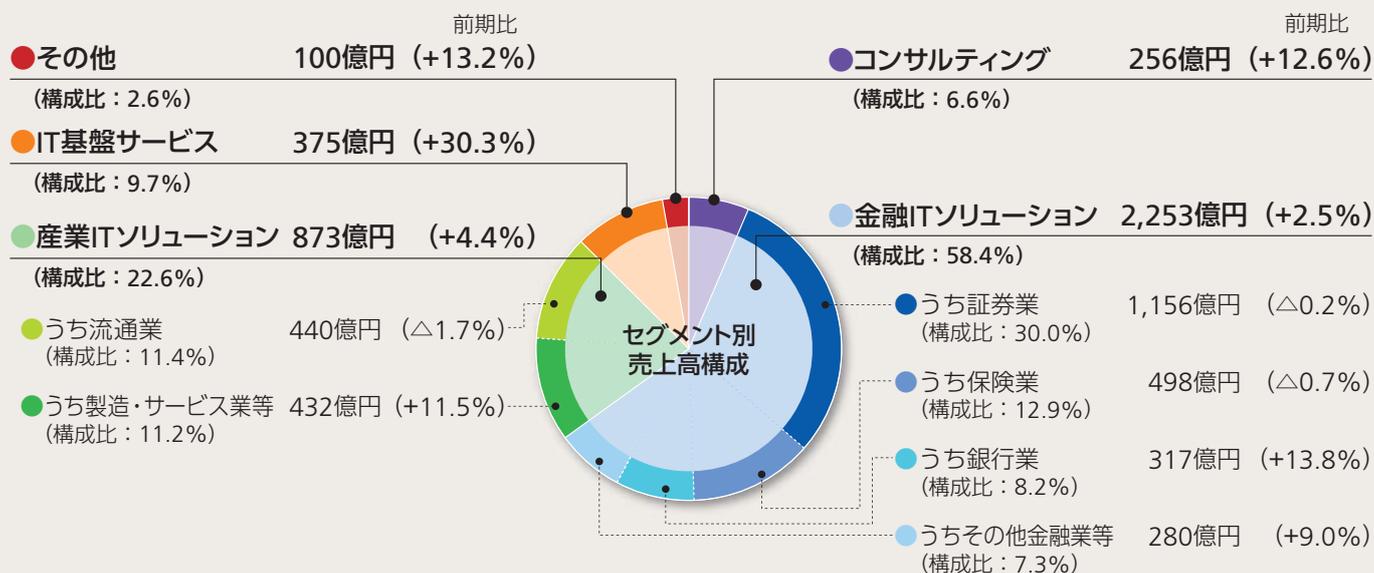
# 数字で見るNRI | NRI at a Glance

2014年3月期 (2013年4月1日～2014年3月31日)



(注) 1. 記載金額は、億円未満 (1株当たり当期純利益・配当金は円未満) を切捨てて表示しております。  
 2. 2015年3月期通期予想は、2014年4月24日に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

## セグメント別売上高



コンサルティングは、企業収益の改善を受け業務コンサルティングが増加、また政策の立案・実行を支援するコンサルティングを中心に公共向けコンサルティングが増加し、売上高は256億円と前期比12.6%の増収となりました。

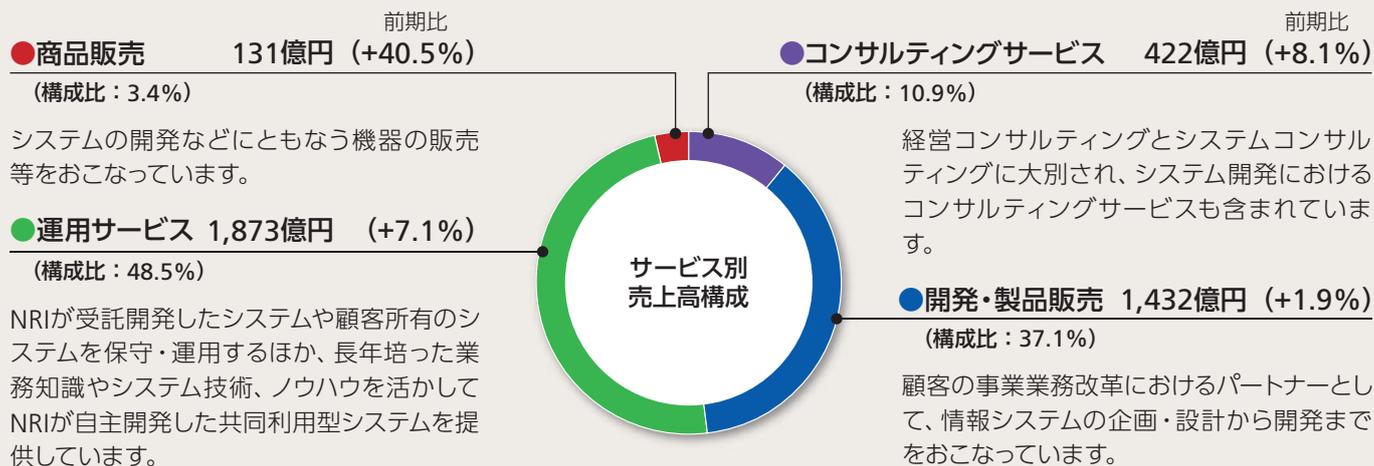
金融ITソリューションは、銀行や資産運用会社向けシステム開発や、株式市場の活況を受けた証券業向けシステム運用サービスが増加した一方、証券業、保険業向けシステム開発が

減少し、売上高2,253億円と前期比2.5%の増収となりました。

産業ITソリューションは、製造・サービス業等、流通業向けシステム開発を中心に増加し、売上高873億円と前期比4.4%の増収となりました。

IT基盤サービスは、IT基盤構築案件が増加し、売上高375億円と前期比30.3%の増収となりました。

## サービス別売上高



システムの開発などともなう機器の販売等をおこなっています。

運用サービスでは、NRIが受託開発したシステムや顧客所有のシステムを保守・運用するほか、長年培った業務知識やシステム技術、ノウハウを活かしてNRIが自主開発した共同利用型システムを提供しています。

コンサルティングサービスでは、業務コンサルティングや公共向けコンサルティングが増加し、売上高は422億円と前期比8.1%の増収となりました。

開発・製品販売では、証券会社や資産運用会社向けのNISA対応や、製造・サービス業等向けシステム開発に加え、IT基盤構築案件が増加する一方、前期の証券主要顧客向け大型プロジェクトの反動もあり、売上高は1,432億円と前期比1.9%の

経営コンサルティングとシステムコンサルティングに大別され、システム開発におけるコンサルティングサービスも含まれていません。

顧客の事業業務改革におけるパートナーとして、情報システムの企画・設計から開発までをおこなっています。

増収となりました。

運用サービスでは、証券業向け共同利用型サービスの利用社数の増加や株式市場の活況を受けて、売上高は1,873億円と前期比7.1%の増収となりました。

商品販売では、IT基盤構築案件の増加ともなう機器販売が寄与し、売上高は131億円と前期比40.5%の増収となりました。

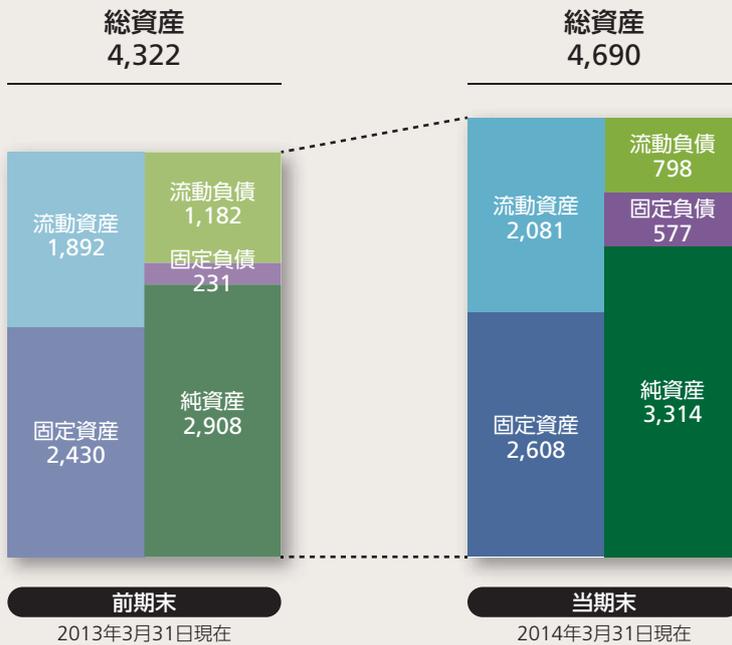
(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

# 連結財務諸表 (要約版)

## Consolidated Financial Statements

(単位：億円未満切捨て)

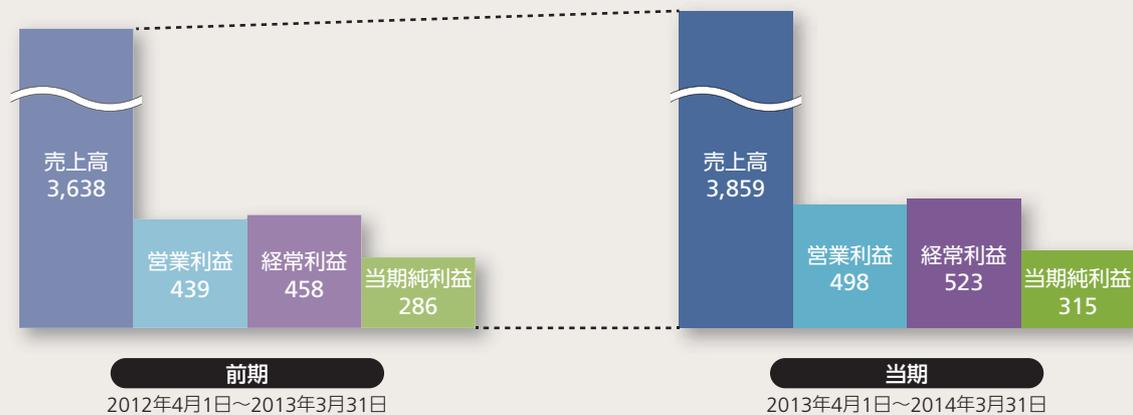
### 連結貸借対照表の概要



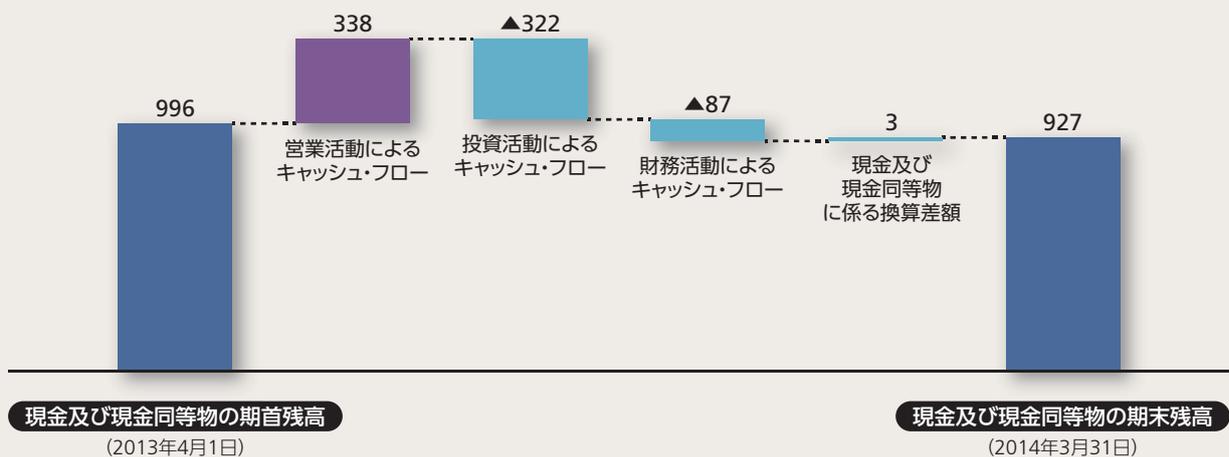
#### 当期のポイント

好調な収益などを背景に純資産が増加し、総資産は前期比8.5%増の4,690億円となりました。

### 連結損益計算書の概要



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



2013

- 4月25日 **大阪府北摂地域にデータセンター用地を取得**
- 5月17日 **次世代を担う若者と未来について考える「NRI未来創発キャンパス2013」を開催**  
～今年のテーマは「2030年に向けた未来のつくりかた」～ **写真①**
- 5月21日 **2018年度までのITロードマップ\*を公表** **写真②**  
※NRIが半期ごとに公表している、5年先までの情報技術の動向を予測したものです。
- 6月 3日 **モバイル端末を用いた提案型営業支援サービスを野村證券に提供開始**
- 7月16日 **新日銀ネット対応の第2段階に向け、決済管理サービス「I-STAR/LC」のシステム対応に着手**
- 9月17日 **UBSとアジア・パシフィック地域におけるポスト・トレード・サービス提供の業務提携で合意**
- 9月18日 **東京第一データセンターが「グリーンITアワード2013」で経済産業大臣賞を受賞**  
東京第一データセンターは「2013年度グッドデザイン賞」も受賞しています。 **写真③**
- 10月 9日, 28日 **「NRI未来創発フォーラム2013」を東京・大阪で開催**  
～今年のテーマは「いま、未来を創るために」～ **写真④**
- 11月 1日 **NRI FT IndiaがモンゴルのGII社、インドのOmnesys社と業務提携**
- 11月 7日 **世界の金融ITサービス企業ランキング「FinTech100」で9位に**
- 11月12日 **シルバー人材センター会員にWebで情報を提供するクラウドサービス「Smile to Smile」を開始**
- 11月27日 **2018年度までのIT主要市場の規模とトレンドを展望** **写真⑤**  
国内を中心とする情報通信技術の主要4市場について、動向分析と規模の予測をおこない、公表しています。
- 12月 6日 **社会保障・税番号制度導入に関する実務情報の提供を開始**
- 12月 9日 **野村バンク・ルクセンブルクに、外国籍投資信託業務の新サービス「FundWeb GAITO」を提供開始**
- 1月 4日 **NRIが提供する「キャリア教育プログラム」が、経済産業省の「キャリア教育アワード」で奨励賞を受賞** **写真⑥**
- 2月 7日 **★「誠実な企業」賞2014の最優秀賞を受賞**
- 2月12日 **★「NISA(少額投資非課税制度)の利用実態調査」を実施**  
本年1月の制度開始以前にも消費者意識調査をおこなっています。
- 2月17日 **★丸紅とのITサービス分野における資本・業務提携**
- 2月27日 **リテール金融商品の提案型営業を支援する個人投資家向けレポート作成ツールを提供開始**
- 3月14日 **★だいがく証券ビジネスの株式取得(子会社化)を発表**
- 3月25日 **「SmartBridge Advance 海外先物取引」を提供開始**
- 3月25日 **★北米事業の強化に向け、現地拠点を再編・強化**

★P6-7のトピックスにて詳しくご紹介しています。ご覧ください。



①会場風景



②「ITロードマップ」をベースとして毎年発行している書籍  
2013年12月12日発行



「生活者1万人アンケート調査」2012年の調査からつかんだ日本人の新たな消費行動の傾向についてまとめた書籍  
2013年8月8日発行



③東京第一データセンター外観



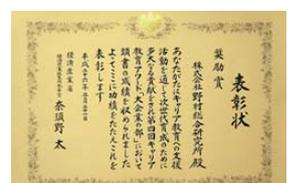
④会場風景



⑤調査結果をベースとして毎年発行している書籍  
2013年12月12日発行



「NRI学生小論文コンテスト2013」  
2013年11月29日入賞者発表



⑥授与された奨励賞賞状

2014

## ▶「NISA (少額投資非課税制度) の利用実態調査」を実施

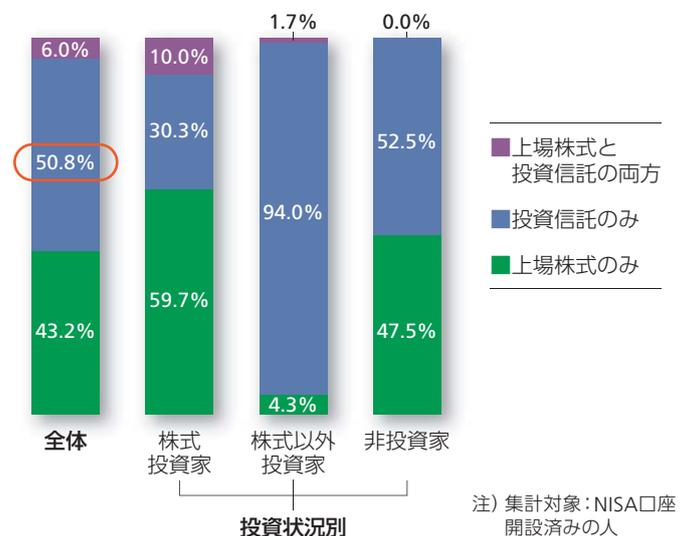
～NISA口座の申込みは年内に865万件に達する見込み～ (2014年2月12日)

NRIは、2014年2月初めに、NISAについての利用実態調査を実施しました。

2014年1月からスタートしたNISAの認知度は69.5%と、1年間で3倍以上の伸びとなりました。国税庁では、NISAの申込みは1月1日時点で556万件に達したと発表していますが、NRIでは、申込みは今後も増え、2014年末までに865万件に達する可能性があると試算しています。

NISA口座で既に投資した人についてみると、50%超が投資信託のみに投資しており(グラフ参照)、NISA口座の運用原資は預貯金が約60%に上りました。また、NISAを活用した1人あたりの投資金額の平均は59万3千円でした。NISAにより個人投資家の「貯蓄から投資へ」の流れが進みそうです。

NISA口座における投資対象 (投資状況別)



## ▶丸紅とのITサービス分野における資本・業務提携

(2014年2月17日)

丸紅株式会社(以下、「丸紅」)とNRIは、丸紅が新設するIT子会社の事業運営を共同でおこなうため、資本・業務提携に関わる契約を、2014年2月14日に締結しました。

NRIは、丸紅が2014年4月1日に設立した「丸紅ITソ

リューションズ株式会社」に20%出資し、運営に参加します。総合商社として国内外にさまざまな事業を展開する丸紅と連携し、丸紅の事業をITサービスの側面から支援するとともに、新しいビジネスの創出と拡大を図ります。

## ▶だいこう証券ビジネスの株式取得(子会社化)を発表

(2014年3月14日)

NRIは、2014年4月、株式会社だいこう証券ビジネス(以下、「だいこう証券ビジネス」)の株式を追加取得し、子会社化しました。

だいこう証券ビジネスは、1957年の創業以来、証券事務アウトソーシングビジネスの先駆けとして、口座開設、顧客データの入力、株式などの売買注文の取引所への取り次ぎ、資金の入金確認、証券振替、資金の清算、取引報告書などの作成・発送に至るまでの業務を一貫して提供しています。

NRIの提供する証券バックオフィスシステムの共同利用型サービス「STAR」とだいこう証券ビジネスの提

供する証券事務アウトソーシングとの組み合わせにより、付加価値の高いサービスをより一層多くの顧客に提供してまいります。





## ▶ 北米事業の強化に向け、現地拠点を再編・強化

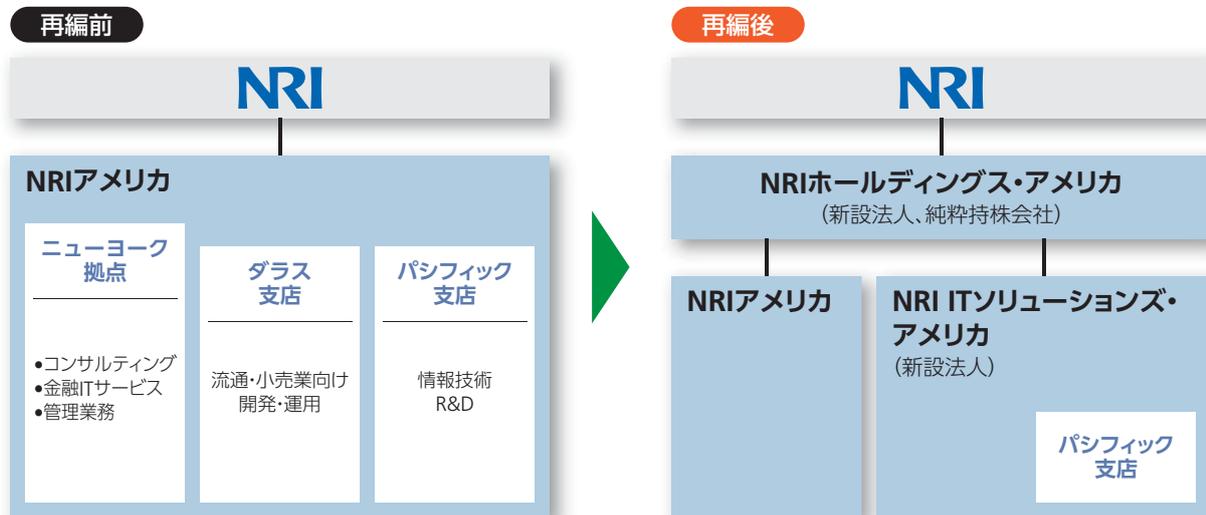
～持株会社を含む3法人体制とし、増資と拠点再編を実施～ (2014年3月25日)

NRIは、北米事業を強化するため、現地拠点を再編しました。

2014年4月、新たに北米地域を統括する純粋持ち株会社「NRIホールディングス・アメリカ」を設立しました。北米地域を拠点とするグループ会社であるNRIアメリカは、その傘下に入り、コンサルティングや金融業へのシステム提供などをおこないます。また、同時に

NRIアメリカの流通・小売業向けシステム開発・運用を担当する「NRI ITソリューションズ・アメリカ」を設立しました。

NRIは、今回の拠点再編により、北米における事業の機動力向上とともに顧客へのサービス向上を図り、顧客のビジネスの発展に貢献します。



## ▶ 「誠実な企業」賞2014の最優秀賞を受賞

(2014年2月7日)

NRIは、「誠実な企業」賞2014の最優秀賞に選ばれました。この賞は「誠実な企業」賞-Integrity Award-審議会が主催し、企業の社会的責任、企業倫理、コンプライアンス、内部統制等に優れた取り組みをおこなっている企業を選出、表彰するものです。NRIは長期的な視点で社会に役立つさまざまな活動を実施していることが評価されました。



▲表彰式の様子



関連URL：「誠実な企業」賞-Integrity Award-審議会の報道発表  
<http://www.integrex.jp/images/pdf/2014integrityaward.pdf>

## 会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,938名/NRIグループ8,123名 (2014年3月31日現在)

## 株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページ <a href="http://www.nri.com/jp/">http://www.nri.com/jp/</a> ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）

## ホームページのご案内



IR情報トップページ  
<http://www.nri.com/jp/ir/>



個人投資家の皆さまへトップページ  
<http://www.nri.com/jp/ir/individual/>

NRIのIRサイトでは、決算発表の当日に決算短信、決算説明会資料をご覧いただけるなど、最新情報を速やかに掲載しています。また、個人投資家の皆さまのための専用のサイトを設け、わかりやすい情報提供を心掛けています。ぜひご活用ください。